

2517



114  
A 4226  
1



文部卿臣 敏謙頓首

大正十一年四月  
隈侯爵邸寄贈

白ス曩者陛下臣ニ命ズルニ巡御ノ供奉ヲ  
 以テシ且 聖駕ニ先ダツテ發程シ以テ沿道ノ  
 學事ヲ視察セシム臣不肖之ヲ文部ニ承テヨリ  
 聖諭ヲ辱フスルアリト雖未々施設スル所アラ  
 ガルノミナラズ又嘗テ學政進路ノ方計ヲ陛下  
 下ニ稟サズ其職ヲ奉スルノ日尚ホ淺キニヨル  
 ト云フト雖モ抑亦未ダ經歷セザルノ務ニ從ヒ  
 妄為失擧以テ陛下ノ付托ニ倍キ 聖明ノ鑒  
 ヲ毀タシテ恐ルレバナリ今ヤ幸ニシテ此命  
 アリ以テ地方ノ學事ヲ實視スルノ機會ニ遭フ  
 庶幾クハ後日學政ノ方向ヲ定ムルヲ得ント  
 乃チ六月七日ヲ以テ東京ヲ發シ山梨縣管下ヲ

經テ長野縣管下ニ入り巡御ノ沿道ヨリ轉シ  
 テ上田松代長野ノ諸地ヲ視察シ更ニ轉シテ水  
 曾路ニ道シ岐阜愛知ノ二縣ヲ過ギリ遂ニ三重  
 縣管下ニ入り本地ニ於テ聖駕ヲ奉迎スルヲ  
 得タリ道臣茲合メ政事田縣管下ニ至ル間ヤ  
 直ニ受知縣官管下ニ入リ以テ名古屋令ニ達シ  
 以テ人令ノ旨ヲ放談任シ以テ政務ハ學事  
 ヲ舉テ之ヲ令ノ旨ヲ放談任シ以テ政務ハ學事  
 揮テ是ニ於テ人令ノ旨ヲ放談任シ以テ政務ハ學事  
 既ニ岐阜縣管下ニ大垣縣ニ於テハ未ダ學務  
 置ルニ及ビ認可スルニ至ラザルニ至ラザルニ  
 賞用アリト減額ノ事ニ於テハ未ダ學務  
 給慮リテ古屋ノ事ニ於テハ未ダ學務  
 會學員親行ノ時ノ如キニ於テハ未ダ學務  
 ホ會議員親行ノ時ノ如キニ於テハ未ダ學務  
 詳長説盛衰ハ而シテ小彼等ニ陰亦大ニ影響ス  
 ル所アリ

ル者ノ如シ是ニ於テ人道ヲ大垣ニ取リ其諸校ヲ  
 巡視シ學事ヲ督視シテ人道ヲ大垣ニ取リ其諸校ヲ  
 テ後テ入レ重シク經過スル所ノ道程約ム子  
 二百里歷視スル所ノ變舍男女師範學校  
 ハケ所醫學校三ヶ所農學校一ヶ所中學校五ヶ所  
 女學校一ヶ所小學校約子百餘所其間蠶桑農耕  
 ノ期ニ際シ學業ヲ止ムル所アリテ畢ク授業ノ  
 態ヲ見スト雖其地方學事ノ梗概ヲ窺フヲ得タ  
 リ臣不肖敢テ通曉スルアリト謂フヲ得スト雖  
 亦以テ聊カ考フル所ナキニアラス謹テ其要領  
 ヲ掲テ之ヲ進奏シ以テ聖明ノ鑒ヲ仰ガントス  
 臣地方學事ノ状ヲ察スルニ兒童就學ノ多寡教  
 育施為ノ整否土地ニ隨テ同カラス其母ル所ヲ  
 考フルニ亦唯地方官ノ學事ヲ重シテ之ヲ督

勵スルト否トニアルノ蓋シ地方官學政ニ慎  
 シメバ郡吏モ亦此事ヲ重シ郡吏之ヲ重シズ  
 レバ町村吏學務委員ニ至レ延悉ク此風ヲ通傳  
 シ教員人ヲ得テ人民學ヲ尚ゴノ俗ヲ成マリ試  
 ミニ其例ヲ舉ルニ長野縣管下ノ如キハ大別シ  
 テ之ヲ觀察スルニ南北ニ部ニ於テ學事ノ狀ヲ  
 異ニシ南部ノ學校ハ往々見ルベキモノアリト  
 雖モ北部ハ則チ之ニ反セリ蓋シ南部ハ奮荒學  
 縣管下ニ屬シ其縣官嘗テ學政ニ勉メタルノ餘  
 風今ニ存スルナリ又三重縣管下ノ如キハ學校  
 蕭條教員措容アリテ生徒解躰シ教則整ハズ人  
 民教育ハ重ズベキヲ知ラザル者ノ如シ之ヲ岐  
 阜愛知ノ二縣ニ比スルニ其相距ル數等ノミナ

ラズ而シテ其人民ノ生計風俗ヲ見ルニ彼此大  
 ニ相異ナルニアラザルナリ此ニ知ル教育ノ盛  
 衰ハ貧富風俗ニ關スル寡クシテ却テ其ノ制度  
 如何ニ係ルモノ多キナラニ立ニ重係ル管下ニ於テ縣  
 師範學校ノ如キハ其進歩ノ程度決シテ他縣ノ  
 モノ大ニ見ル他校トキモ其光景ヲ異ニスル縣  
 地ニ盛衰ハ民情ノ注意ニ因スルニ寡クシテ地方  
 官ノ其盛衰主任者ノ注意ニ因スルニ寡クシテ地方  
 知ルハ是レ富者ノ蓋シ管下之ヲ考フルニ  
 最モ鑑ムベキナリ如キハ之ヲ寒村僻陬ノ  
 夫ノ豪估富高ノ子弟ノ如キハ之ヲ寒村僻陬ノ  
 モノニ比スレバ學ニ就ク多シト雖其父兄學問  
 ノ利ヲ曉ラズ必ズ官ノ誘導込令ノ督促ヲ誤テ  
 後ニ學ニ就カシメ其學ニ就カシムルノ後漸マ  
 ク其利ヲ曉ル者比々自然ノ故ニ地方郡村吏等

此ニカハルルノ地ハ學問隆盛ナリト雖其放棄ス  
ル所ハ衰廢振ハズ此ノ民ニレテ督促ヲ須井ズ  
此俗ニレテ干涉ヲ爲サバ又ノ不學ニレテ子  
無智ニ終リ兄蒙昧ニレテ弟無賴ニ長レ世ハ學  
問ノ利ヲ曉ルニ由無ラントス而レテ夫ノ貧困  
者ト稱スルモ莫ニ學問ノ利ヲ曉ラバ苟モ飢寒  
身ニ迫ルニ至ラザレバ誰カ其愛スル所ノ子弟  
ヲレテ無學ニ終ラシムル者ナラシマ其就學セ  
レムル能ハサル者蓋シ幾ンド希ナリ是レ今日  
ニ在テ教育ノ干涉主義ニ出ザル可ラザル所以  
ニレテ後來ノ學政益々此進路ニ沿ント欲ス  
教育令ノ發行アリテヨリ人民學事ヲ忽視スル  
ノ氣象ヲ生ジ動モスレバ則チ曰フ政府ハ人民

ニ教育ノ自由ヲ許與セリト而レテ地方官モ亦  
往々教育令ノ旨ヲ誤マリ之ヲ督勵スルノ前日ノ  
如クナラズ當地方官ノニ然ルニアラズ文部省  
其他中央政府ノ官吏ト雖間々一種ノ世論ニ蕪  
揚セラレ其地方ニ對スル言談ノ中ニ於テ或ハ  
教育ヲ緩ムルノ状ヲ顯ハセシテ無シト云フ可  
ラス臣ヲ以テ之ヲ見ルニ其大ニ教育ノ本義ニ  
違フニミナラズ國運ニ関スルモノ細小ニアラ  
ザルナリ蓋シ之ヲ歐洲諸國ノ制度ニ考フル  
ニ近世日耳曼諸國悉ク干涉教育ノ主義ヲ舉行  
セリ而レテブルンヤヲ以テ其最トス千八百六  
十六年オーストリア、プロシヤト戰テ敗績シ初  
メテ其人民ノ國家ニ忠厚ニシテ氣象精悍用事

ルニ足ルハ教育ノ力與テ多キヲ覺リ乃倣フテ  
其干涉教育ノ制ヲ設ク蓋シ現今ニ在テスウイ  
ツルノルウエーテムマーカーイタリノ諸國悉ク法  
令ヲ以テ人民ノ教育ヲ促サシムルヲ又英佛  
ニ國ニ就テ之ヲ考フルニ佛國ニ於テハ世論大  
ニ干涉教育ヲ讚揚シテ之レガ反論ヲ爲ス者ハ  
唯僧徒ニ過ズト云フ英國ニ於テハ教育ニ政府  
ノ干涉スルヲ非トスル者稍多シト虽近日ニ至  
テハ漸ク干涉ノ議盛ンニシテ千八百七十年以  
來此事實際ニ行ハルノ端緒ヲ啓ケリ現ニ川  
バパール、マンチスター、オースフォードノ如キ地  
ニ於テ兒童ハ必ス公立學校ニ入ラザル可ラサ  
ルノ規則ヲ施行セリ其歐洲諸國ノ狀此ノ如ク

又顧ミテ大西洋ノ對岸ヲ視ルニ米洲聯邦ノ  
如キハ諸州風ニ此主義ヲ舉行シ之ニ違フ者ニ  
罰ヲ科スルニ至ルノ地アリ是レ各國ノ實試經  
歴スル所ノ者ニシテ教育ノ干涉主義ヲ要スル  
ノ例ニ供スベシ夫レ小學教育ノ用タル人間普  
通ノ智徳ヲ修メ一國良民ノ員ニ入ラシムニキ  
必須學課ヲ教ユルニ在テ固ト英才俊秀ヲ陶冶  
スルノ意ニアラス故ニ之ヲ人々ニ科セサル可  
ラズ且ツ夫レ教ノ義タル先覺者ノ後覺者ヲ開誘  
スルニアル以上ハ恰モ父母ノ兒童ヲ訓ユルト  
一般ノリ父母ノ兒童ヲ訓ユルハ緊束ヲ要ス則  
チ教育ノ義固ト干涉ノ旨ヲ含有セリトス且夫  
レ普通教育ニシテ政府ノ干涉スルヲ無レバ則

今教員タル者教育ノ順次ヲ誤マリ自己ノ僻ス  
ル所ニ隨テ子弟ヲ誘導シ未タ人間普通ノ徳義  
ヲ辨ゼサルノ兒子ニ高尚ノ理論ヲ教ヘ史學ニ  
托シテ政論ヲ説キ甚キハ世變ニ處スルノ術ヲ  
講ズル者アルノ徴ヲ現ズルニ至ル今ニ及ンデ  
教育ノ進路ヲ定メ之ヲ政府節制ノ下ニ置ズン  
バ唯夫ノ人ノ子ヲ賊フノミナラズ風俗頹敗シ  
事理ヲ辨セズ肆マニ空論暴議ヲ事トス  
ルノ少年ヲ出シテ將來ノ國運ニ影響スルモノ  
甚ダ大ナラントス之ヲ各國ノ制度ニ考フルニ  
既ニ彼ノ如ク之ヲ我邦ノ現状ニ察スルニ又此  
ノ如クナレバ則チ教育ノ嚴ニ督促セサル可ヤ  
明ナリ

直捷ノ痛痒ニ敏ニシテ間接ノ利害ニ明カナラ  
サルハ人情ノ免ル能ハガル所ニシテ不學ノ  
徒ニ在テハ此患尤モ太甚シトス夫レ教育ノ効  
ハ其子弟成立ノ後ニ於テ顯著ナリト虽眼前ニ  
在テハ其利ヲ見難クシテ現今ノ父兄タル學校  
ノ設ケ國ニ偏子カラス教育ノ事總カニ士以上  
ノ範圍ニ止マルノ世成長セル者ニ係レリ夫レ  
教育ナキノ父兄ヲシテ數年後ニ顯著ナルノ利  
ヲ豫知セシメントスル抑亦難シ今日ニ在テ學  
事ノ振ハガル所以ノモハ職トシテ此ニ由ル  
民間往々篤志ノ人出テカヲ學事ニ致ス者ナキ  
ニアラズト虽多數ノ人民此ノ如キ人ヲ迂潤視  
シ又其事ヲ無用視スルヲ以テ啻其功勞ノ為メ

ニ榮譽ヲ享ケサルノミナラズ却テ其嘲笑スル  
可トナルノ弊ナキヲ保セズ此ノ如クシバ何ヲ  
以テ此類風ヲ回スヲ得ンヤ臣故ニ以爲ラク官  
ニ於テ學務ニ関スル賞格ヲ定メ其功勞アル者  
ニ賞賜シテ以テ榮譽ヲ其人ニ付スニシト此  
如クハ則チ人民風ニ嚮ヒ教育ニ益スルモノ蓋  
シ細ニアテサル可シ

臣各地ノ學事ヲ通觀スルニ生徒學問ノ熟否ハ  
教員ノ能否ニ関シ教員ノ能否ハ學務委員ノ良  
否ニ係レリ蓋シ教員ノ能者ヲ得ルハ學校ノ資  
金優ニシテ厚ク之ニ給報シ又重ク之ヲ遇スル  
ニ由レリ而シテ其之ヲ致ス所以ノモノハ學務  
委員ノ能ク意ヲ此ニ注グニ出デズンバアラズ

蓋シ貧困ノ土地ト雖委員ノ意ヲ注グテ周ク事  
ニ勤ムルト切ナレバ其土地人民ニ應ズルノ資  
ヲ集メ一方ニ向テハ就學子弟ヲ督促シ一方ニ  
向テハ教員ヲ敬重スルヲ以テ子弟學ニ勤メ教  
員亦其業ニ樂ムノ状アリ而シテ土地富饒人口  
稠密ニシテ就學ノ者寡ク教員職ニ適ハズ生徒  
解體シ學舍蕭條ナルヲ見ル毎ニ輒チ之ヲ怪シ  
學務委員ニ親接問答スルニ其人必ず憤々タル  
モノナリ之ヲ各地ニ驗スルニ一モ違フモノア  
ルトナシ此ニ知ル地方學事ノ盛衰ハ學務委員  
其人ヲ得ルト否トニ関スル極メテ多キヲ故  
ニ人民ノ之ヲ撰擧スルニ方リ地方官之ヲ監督  
シ若シ其任ニ堪ヘザル者ヲ擧ルアラバ改撰ヲ



命シテ以テ其適任者ヲ求シムベシ此事タル教  
育令ノ範圍内ニ於テ行フヲ得ベキ地方官固有  
ノ權ニ屬セリ而シテ人或ハ其能ハザルヲ疑フ  
臣故ニ巡視セル所ノ各縣長官ニ此義ヲ説示シ  
テ以テ其惑ヲ絶テリト虽他府縣官ニ至リテハ  
尚ホ改撰ノ權ナキヲ疑フ者ナキヲ保セザルヲ  
以テ不日達書ヲ出シテ此ヲ分明ニセント欲ス  
但之ヲ改撰スルモ尚ホ其人ヲ得ザルニ及ニデ  
ハ地方官之ヲ文部省ニ具狀シ其許可ヲ得テ後  
々直々ニ學務委員ヲ任命セシメント欲ス此事  
ニ至テハ教育令ヲ改ムルニアラザレバ行フ能  
ハザルヲ以テ不日其改正ヲ政府ニ稟請セシト  
ス

土地若ク貧瘠ナラズ人民若ク寡少ナラズ學務  
委員若ク慣ナラバニテ生員寡少學舎蕭條ナ  
ルモノアリ之ヲ問ヘバ則チ其土地ゆズ製造ヲ  
事トシテ兒女ノ八九歳ニ至ルモノハ既ニ之ヲ  
驅テ其業ヲ助ケシメ或ハ他ノ雇役ニ供シテ又  
學ニ就シメズ此ノ如キハ父兄目前ノ小利ノ爲  
メニ兒子ノ生涯ヲ誤マリ終身一丁字ヲ解セズ  
單原ノ算數モ亦曉ラザルノ不幸ニ陷ラシム是  
レ真ニ愍ムベキナリ其貧困實ニ已ムヲ得ザル  
者ハ姑ラク之ヲ措キ其稍々自ラ給スルニ足ル  
モ惟慣習土風ノ爲メニ此ニ至リ悟ラザル者ニ  
至テハ適當ノ法令ヲ設ケテ之ヲ制限セシトシ  
師範學課ヲ卒業シテ後ニ教員トナル者ノ外僅

カニ小學下等ノ課ヲ履メルノ少年ヲ雇フテ授  
業ヲ助ケシム各校皆然ラザルナシ之ヲ称シテ  
授業生又助教ト云フ蓋シ其給料ノ寡キヲ利ト  
スルナリ臣巡視ノ際其教授ノ状ヲ察スルニ概  
子定則ノ讀書算數ヲ傳フルニ止マリテ毫モ活  
機ヲ出シテ生員ヲ提擡スルヲ能ハズ又其授業  
ノ態疎漏ニシテ生徒肆習ノ便ヲ失フモノ比々  
皆是ナリ帝授業生ノ然ルニアラズ師範學校  
ニ入りテ其學課ヲ卒業シタルノ教員ト虽件々  
ニシテ此弊アルヲ免レズ然リト虽其人ヲ更メ  
テ一々良師ヲ得ニトスレバ給料乏ヲ告ルヲ以  
テ此ヲ為スニ由ナシ故ニ之ヲ改良セニトセバ  
現ニ任ズル所ノ教員授業生等ヲシテ漸ヤク教

授ニ慣熟シ學業ヲ進修セシムルノ道ヲ開クニ  
如クハナシ臣以爲ラク其方法ニアリ東京師範  
校ト地方師範校ト聯絡ヲ相爲シ東京師範校ノ  
教員ハ各地方ノ師範校ヲ巡回シテ以テ其授業  
ヲ改議改良スルヲ勉メ地方師範校ノ教員ハ其  
府縣ノ小學校ヲ巡視シテ弊ヲ去リ利ヲ傳フル  
ニ勉ムルナリナリ文部省ニ於テ授業ノ方法ヲ  
論ゼルノ良書ヲ編纂シテ之ヲ全國ニ頒ツナリ  
ナリ此ヲ以テ併セ行ハシ其弊幾クハ除クヲ得  
ニトス  
地方ノ教育各府縣其方法ヲ異ニセリ唯府縣ノ  
間之ヲ異ニスルノナラズ甚キハ各校相異ニ  
シテ互ニ得失アリ而シテ其彼此相通セズ孤立

別行スルヲ以テ各々目ヲ是トシテ其非ヲ曉ル  
ノ道無し若シ定期ノ教員會同ヲ設ケテ相議セ  
シメバ大ニ授業ノ為メニ益スルノミナラズ其  
相通ズルヨリシテ互ニ提撕刺衝シ以テ改良進  
修ノ氣象ヲ長ゼントス  
臣地方人民ノ教員ニ對スル狀ヲ察スルニ毫モ  
之ヲ敬重スルコトアル無ク其位地變カニ等外吏  
郡區村吏ノ下ニ在ルモノ、如ク徒ニ其頓使ス  
ル所トナシリ故ヲ以テ稍々有為ノ人ハ教員ト  
為ルコトヲ肩トセズ其一旦教員ト為レル者モ胸  
中自ラ平ナラズ幾時ナラズシテ去テ他ニ之ク  
是ニ於テカ其位地日ニ汚下ニ趣キ學事漸ヤク  
荒ニ而シテ生徒受業ノ方法モ亦教員ノ更マル

毎ニ變スルヲ以テ學校ノ信用ヲ減殺シ父兄ヲ  
シテ子弟ノ就學ヲ厭ハシムルニ至ル其弊實ニ  
言フ可ラサル者アリ此事ニ至テハ文部省ニ於  
テ教員對遇ノ規則ヲ設立セント欲シ既ニ此ニ  
着手セリ今ヤ地方ノ實況ヲ見テ益々其事ノ已  
ム可ラサルヲ知レリ此規則政府ノ裁可ヲ經テ  
之ヲ行フニ至テハ漸ヤク此弊ヲ消スルニ至テ  
ントス  
小学ノ課業ハ各校大抵備ハレリ唯修身ノ一課  
ニ至テハ見ルヘキノ体裁ヲ有スルモノ甚タ希  
ナリ蓋シ其至難ノ課タルヲ以テナリ何ントナ  
レハ學問淵博許多ノ道理ヲ胸中ニ融會自得シ  
タル者ニアラサレハ平易ノ語ヲ驅使シテ義理

ノ要ヲ説キ以テ兒童ヲ感化セシムルノ妙境ニ  
入り難ケレハナリ故ヲ以テ理遠キモノハ辞艱  
ニシテ兒童ノ腦裏ニ入り難ク書ヲ講シテ之レ  
ニ充ツルモノハ兒童ヲシテ意ヲ文字ニ勞セシ  
メ以テ感化ノ効ヲ見ルト寡シ然ルト虽深遠ノ  
理ヲ胸中ニ融會シ平易ノ語ヲ以テ其意ヲ達ス  
ルカ如キハ到底所在ノ小学教員ニ望ムヘキニ  
アラストス此ヲ極フノ法ハ文字平易義理純粹  
讀ミ易ク解シ難ラス兒童ノ風誦スルモノ自カ  
ラ其良心ヲ感發スルニ足ルカ如キノ書ヲ撰述  
シテ之ヲ全國ニ頒ツニ在リ臣先キニ此ニ見  
リ文部省ニ於テ既ニ其撰述ニ着手セルヲ以テ  
其成ルヲ俟ツテ之ヲ頒行セント欲ス

十室ノ邑志信アリ寒郷僻陋豈其人ナカラシヤ  
暫ラク臣カ巡歴スル所ニ就テ之ヲ言フモ少年  
ニシテ才學風采ノ見ルヘキ者ナキニアラス然  
リト虽山間荒落ノ地良師ニ乏シク既ニ小学ノ  
課業ヲ卒ルニ及ンテハ又高等ノ學ニ就クノ道  
ナレ故ヲ以テ或ハ小成ニ安ニシテ或ハ自ラ畫シテ  
己ミ璞玉ヲシテ彫琢セサルニ終ラシムルノ状  
アリ眞ニ國家ノ為メニ惜ムヘキナリ臣故ニ以  
為ラク官宜シク嚴格ノ試験法ヲ設ケ歳ニ其數  
ヲ限リ合格ノ者ヲシテ之ヲ縣下ノ中学ニ進メ  
其俊秀ナル者ハ更ニ都下ノ官學ニ入レシムルノ  
途ヲ開クヘキナリト果シテ此ノ如シハ唯其學  
生ノ幸福ナルノミナラス人民學問ノ身ヲ榮ス

ルニ足ルヲ知リテ全國學ニ嚮フノ風ヲ起サン  
 トス其間接ノ利益ニ細ニアラサル可シ  
 以上陳スル所ハ臣カ學事ヲ視察スルノ間之ヲ  
 實況ニ察シテ策スル所ノ事項ニシテ歸京ノ日  
 ニ及ンテ漸ヤク此ニ着手セシテ期ス然リト  
 虽一事ヲ學ニト欲スレハ費用直チニ之ニ隨フ  
 アリ従前ノ定額ノ能ク辨スル所ニアラス而シ  
 テ方今政府ノ會計常餘裕アラサルノミナラス  
 則チ定額増加ノ事ニ至テハ之ヲ行クノ甚々難  
 キヲ知レリ已ムヲ得スニハ則チ一法アリ従来  
 文部ノ定額中ニ於テ若干萬圓ヲ全國ノ小學ニ  
 頒給スルモノナリテ去歲ノ如キニ十萬圓ヲ出  
 セリ之ヲ小學補助金ト稱ス此金額タル出ス所

ヨリ之ヲ考フレハ寡少ナリト云フ可ラスト雖  
 全國星羅ノ小學ニ配分スルニ一校ノ得ル所寡  
 キモノハ二三圓多キモ十圓ニ過ズンハ則チ受  
 ル者ヨリシテ之ヲ見レハ其益スル所果シテ幾  
 許カアラン故ニ之ヲ廢スルモ亦其盛衰ニ影響  
 ナキガ如シ臣常テ之ヲ思ヒ此事ヲ舉テ今回巡  
 視スル所ノ地方官ニ質スニ皆臣ノ見ル所ノ如  
 シ但教育令發シテヨリ以來人民動モスレバ其  
 主義ヲ誤マリテ曰フ政府又教育ノ事ニ于涉ス  
 ルトナシ學校ノ興廢ハ人民ノ自由ニ屬スト諸  
 々此ノ如キノ説紛々トシテ興リ爲メニ大ニ學  
 事ノ衰替ヲ致セリト云氣運此ノ如シ今又一且  
 ニシテ小學補助金ヲ廢セバ人民ノ惑益々甚シ

カラントス故ニ補助金廢存ノ利害ハ其金額ノ  
實益ヲ爲スト否トニ関セズレテ唯政府ノ主義  
ヲ人民ノ誤解セシテ恐ルルハ一點ニアリト  
ス今ノ討ヲ爲ス者宜レク補助金ノ幾分ヲ轉用  
レテ學事獎勵ノ方討ヲ建テ教育ノ進路依然ト  
レテ于涉主義ニ在ルルヲ天下ニ明示スヘレ而  
レテ後ニ之ヲ廢棄スルモ亦大ナル害ナカルベ  
キナリ是ニ於テカ其金額ヲ移レテ之ヲ前ニ臚  
列スル所ノ事項ニ用井バ庶幾クハ教育ノ面目  
ヲ一新スルハ効ヲ見ントス但其施設ノ方法ニ  
至テハ審査精究マザル可ラザルヲ以テ之ヲ他  
日ニ讓リ以テ其概畧ヲ具シテ将来學政ノ進路  
ヲ冀レ仰テ書ヲ奉レテ以聞ス臣敏録誠惶頓首

謹  
テ  
白  
ス



上書



114  
A 4226  
2



大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

文部卿臣敏鎌頓首

謹言 白ス臣本月五日ヲ以テ三重縣管下津ヲ發  
シテヨリ路ヲ伊賀ニ取り二日ヲ間テ、堺縣管  
下奈良ニ入り其沼道及ヒ近村ヲ巡視シ本月九  
日ヲ以テ京都府下ニ達シ府中市街及ヒ近村ノ  
学事ヲ視察セリ  
右巡視スル所ノ地方学事ノ景況ハ特各上奏ス  
ヘキモノナシト虽其二縣一府ノ間ヲ通觀スル  
ニ稍々相異ナルノ状ナキニアラズ唯管轄ヲ異  
ニシテ後チニ然ルノミナラス一廳ノ治下ニ在  
チモ總カニ山河ヲ隔ルニヨリ学事ノ景況ヲ異  
ニスル處アリ試ニ其一ヲ擧シニ伊賀伊勢ノ  
二國ハ同シク三重縣ノ管内ニ属スト虽伊賀ヲ

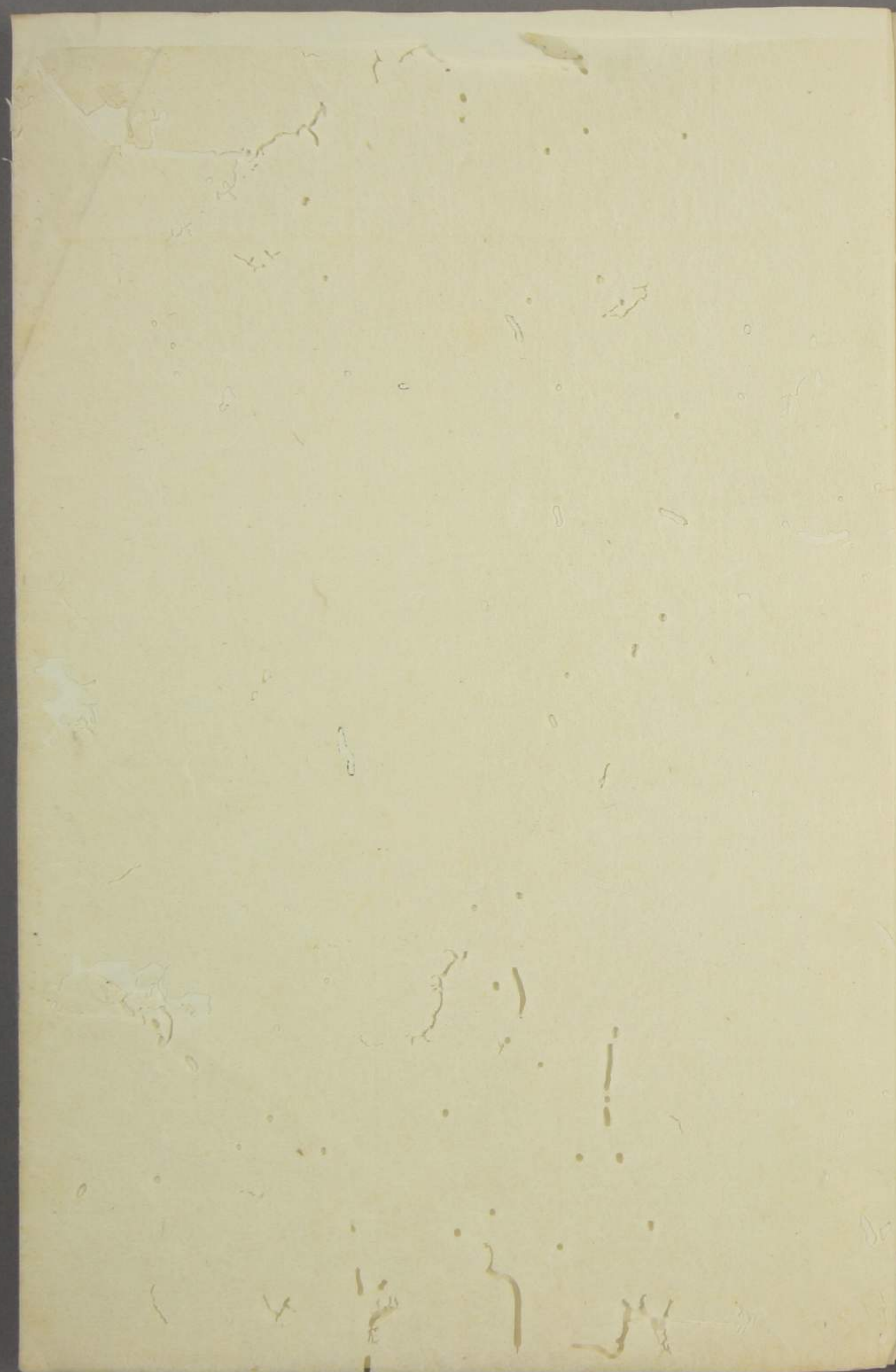
文部省

以テ伊勢ニ比スレハ小学ノ見ルベキモノ多キ  
 一曼カニ伊勢ノ上ニ在リ而シテ其地勢ヲ視ル  
 ニ海運ノ便ナク貿易ノ利生計ノ度モ亦伊勢ニ  
 劣レリ而シテ此レ彼ニ優ルモノハ何ソヤ蓋シ山  
 間僻地ノ民樸素ノ風未タ散セズ能ク政府ノ令  
 ヲ奉シ教育ヲ重視スルニヨルナルヘシ堺縣管  
 下ノ如キハ統カニ其一小部ヲ見ルニ止マリ且  
 其見ル處モ亦縣廳ヲ距ル十餘里ノ地ニ係ルヲ  
 以テ今其地方学事ノ景況ヲ通評スルヲ得スト  
 虽臣奈良ノ留マレルニ終カニ一日其市街及ヒ近  
 村ノ学事ヲ見ルニ會シ政ヲ談スル縣令稅所  
 篤令ノ同地ニ至ルニ會シ政ヲ談スル縣令稅所  
 育令ノ同地ニ至ルニ會シ政ヲ談スル縣令稅所  
 聽ノ巡視ニ到リテ後幸ニシテ一日ノ間得ハ其縣  
 暫ク臣ノ見ル所ニ就テ之ヲ言フニ其小学ノ校

舎ハ大抵旧寺院又ハ民屋ノ稍々大ナルモノヲ借  
 用スルヲ以テ屋宇狭隘ニシテ昇降授受ノ間往  
 々不便ヲ免レズ然リト虽教員ニ少年生員ヲ用  
 弁ルヲナリ又生徒ノ学ニ専心ナルハ却テ三重  
 縣ニ優ルヲ數等ナリ亦以テ学問ノ盛否ハ一ニ  
 負富ノ度ニ準セサルヲ知ル可シ京都府管下ハ  
 諸校大抵新築ニ係リ構造宏大觀極メテ美ナリ  
 ト虽其授業ノ方法教育ノ整頓ニ至テハ未タ必  
 スシモ此ニ副ハサルナリ但府廳ノ下區内市中  
 ノ小学ハ諸事整備シテ就学モ亦他管下ニ比ス  
 レハ甚々多シ其府立ニ係ルモノ師範学校中学  
 校女学校医学校女紅場ノ如キハ觀ノ美ハ則テ  
 美ナリト虽其中實ニ至テハ未タ必スシモ他地

方ノモノニ優ルト謂フヲ得ス獨リ旨啞院ニ至  
テハ唯他ニ其類ヲ見サルノミナラス授業ノ懇  
切ナル用具ノ輕便ナル大ニ見ルヘクシテ其器  
具モ亦往々新創ノ工夫ニ出ツ而シテ啞者ノ手  
指ヲ用弁テ以テ字ヲ書シ物ニ象リテ以テ語意  
ヲ通シ文章ヲ説キ算數ヲ解スル等殆ント口能  
ク言フモノ、如ク旨者ノ讀書算筆ニ通シ中ニ  
就テ文書ニ暗熟シ史書ヲ誦シテ數紙ノ間一字  
ヲ誤ラズ言語爽朗ニシテ事理融徹ナルハ却テ  
耳目完具ノ少年学生ニ優ルヲ見ル以テ授業ノ  
宜キヲ得ルヲ證スヘシ蓋シ京都府立ノ諸校中  
此ヲ以テ第一ト為ス  
以上ハ臣カ津ニ於テ 陛下ニ辞別シ奉リシヨ

リ本地ニ至ル迄巡視セル学事ノ概畧ニシテ此  
間土地人情ノ異ナルニ應シテ学事ヲ獎勵シ学  
務ニ與ル者ヲ督促シ又地方官ニ学政進路ヲ開  
示セル等ノ事ニ至テハ端緒頗ル繁シト虽之ヲ  
要スルニ先キニ 上奏セシ旨趣ノ範圍ヲ出サ  
ルヲ以テ更ニ此ニ具シテ 聖聽ヲ瀆スヲ須弁  
ス唯歷見スル所ヲ畧陳シ仰テ書ヲ奉シテ以テ  
聞ス臣敏鎌頓首謹テ白ス

This image shows the right page of an antique book. The page is ruled with vertical lines, creating a grid for text. The lines are dark and evenly spaced. The page is otherwise blank, with no text or other markings. The paper is light beige and shows signs of age.

文  
音  
行

